

第120回

近畿地方交通審議会  
神戸船員部会議事録

平成30年9月28日

神戸運輸監理部

[第120回 近畿地方交通審議会 神戸船員部会議事録]

1. 日 時 平成30年9月28日(金) 15時30分から
2. 場 所 神戸運輸監理部 調停室  
(神戸第2地方合同庁舎 6階)
3. 出席者  
(公益委員) 羽原部会長(欠)、関根委員、奥見委員、湊委員  
(労働者委員) 鴨頭委員、除補委員、山原委員  
(使用者委員) 南委員(欠)、亀井委員、加藤委員  
(運輸監理部) 鵜山海事振興部長、戸井海事振興部次長、  
田中海上安全環境部調整官  
(事務局) 中村船員労政課長、岩井船員職業安定係員
4. 議 事  
(1) 管内の雇用状況について  
(2) その他
5. 閉 会

## [ 議 事 概 要 ]

### 部会長代理

ただいまから、第120回近畿地方交通審議会神戸船員部会を開催します。  
事務局から出欠状況及び資料の確認をお願いします。

### 海事振興部次長

本日の出欠状況ですが、羽原委員欠席でございます。南委員、ご出席でお聞きしておりますが、ちょっと遅れているかもしれません。ということで、公益委員3名、労働者委員3名、使用者委員2名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定により、定数を満たし有効に成立をしていることをご報告申し上げます。

本日の配付資料ですが、

- ・議事次第
- ・資料1 「第119回近畿地方交通審議会神戸船員部会議事録（案）」
- ・資料2 「第120回近畿地方交通審議会神戸船員部会資料」
- ・資料3 「全国版船員職業紹介実績一覧表（7月分）」
- ・資料4 「平成30年度船員最低賃金審議状況」
- ・神戸船員部会情報

資料は、以上でございます。

### 部会長代理

それでは、議事に入ります。

まず初めに、第119回船員部会議事録（案）についてお諮りしたいと思います  
が、何かご指摘の点とか修正とかございますでしょうか。

(異議なし)

### 部会長代理

ありがとうございます。

続きまして、議事の2、平成30年8月における管内の雇用状況について、船員  
労政課長から説明をお願いします。

### 船員労政課長

それでは、資料2及び資料3に基づいて、簡単にご説明致します。

まず、資料2の神戸の船員職業紹介実績ですが、8月の新規求人件数は40。前  
月比プラス18、前年同月比マイナス8。月間有効求人数は85。前月比プラス12、  
前年同月比±0でした。

次に、新規求職件数は22。前月比プラス10、前年同月比プラス3。新規求職者の平均年齢は41.36才でした。月間有効求職数は51。前月比プラス13、前年同月比プラス2となりました。

次に成立件数ですが、求人側から見た成立件数が1、求職側から見た成立件数は0。月間有効求人倍率は1.67倍、前月比マイナス0.25ポイント、前年同月比マイナス0.06ポイントとなりました。

なお、8月に成立件数が少なかった要因ですが、縁故等による再就職が2件あったこと、求職者側がより条件の良い仕事を選び好みする傾向にあることなどがあげられると思います。8月の紹介件数は352件でしたが、なかなか結果に繋がりませんでした。

次に、失業等給付の月末受給者数は2。基本手当の支給額は1,152,462円。就職促進給付が1件で、1,004,272円。支給額合計は2,156,734円となりました。

次に、資料3の全国版船員職業紹介実績ですが、7月の月間有効求人数は2,338、月間有効求職数は969、有効求人倍率（季節調整値）は2.49となっており、全国ベースでも船員がかなり不足していることが分かります。

簡単ですが、私からの説明は以上でございます。（詳細説明は省略）

#### 部会長代理

ありがとうございました。

ただいまのご説明に関しまして、何か質問、ご意見等ございますでしょうか。

ないようでしたら、「その他」に入ります。

皆様から何かございましたら、お願いします。

(公益委員なし)

(使用者委員なし)

#### 委員

(全日本海員組合の)全国大会が11月6日から4日間、マリナーズコート東京において開催されますので、お知らせいたします。

次に、9月11から13日までの間、神戸港において第101次FOC/POCキャンペーンを実施しました。この3日間で、FOC船12隻に訪船しましたが、その中で4隻にワーキングレターを提出しました。なお、その4隻の中の1隻、「オプティマ」という本船で訪船拒否がありました。これにより当該船舶の船員と接触ができず、ILO87号条約及び98号条約の団結権の保護に違反している疑いがあるため、PSC出動を要請いたしました。

以上です。

#### 部会長代理

行政側から何かございますか。

#### 海事振興部次長

資料4の説明をさせていただきます。

平成30年度の最低賃金の諮問にかかる審議状況の資料です。まず、中央の審議状況ですが、既に内航が8月20日、旅客が8月20日と9月13日に専門部会が開催されております。旅客については本日、中央の船員部会で答申案を決定し、確定すると聞いております。

各地方運輸局も順次、日程調整を進め、審議を進めています。

神戸におきましても、順次審議手続きを進めており、各団体からの推薦により、旅客運送事業から使用者 小林正和様。内航鋼船運航業 大橋了輔様。漁業は、塩川様、黒田様、川越様、石橋様、以上の方が9月19日付けで国土交通大臣の任命手続きが完了しています。

なお、内航の大橋了輔様につきましては、9月19日付けの任命手続きが間に合わなかったため、10月上旬の任命となります。

最低賃金については以上でございます。

#### 委員

前回の船員部会でも話したとおり、日本海側の沖合底びき漁船の漁業技能実習生で、一般の日本人と同じような扱いを受ける3号生が今年度から入ってきた中で、こちら（全日海）としては最賃部会の委員として参加すべきであるという文書を出させていただきましたが、それに対する考えについてはどのようになりますか。

#### 海事振興部次長

専門部会長から、今年度は資料4-2の委員で進めさせていただくとお聞きしております。多数の3号生が恒常的に但馬地区の漁業に携わると、当然、最低賃金の適用も受けますので、次年度以降、委員に入らせていただくかどうかの検討をさせていただきたいとのことです。

#### 委員

今後、3号生が年々増加するだろうという予測もあります。全員が3号生になるわけではないが、地域の最低賃金の適用者になるので、ぜひ海員組合から委員を出して、幅広い意見の中でどうすべきかという論評をしたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

#### 部会長代理

ほかにご質問等ないでしょうか。

#### 委員

神戸船員部会情報の8ページに「登録船舶管理事業者」の記事がありますが、現在登録している船舶管理事業者のほとんどが、所謂「船員派遣」の許可事業者だと思いますが、この登録制度によって何が変わるのでしょうか。

#### 海事振興部次長

従前から「船舶管理会社」は存在しており、大手荷主やその系列のオペレーターのアンダーで設立、活用されるケースが見受けられましたが、系列外の船主からは活用しづらいのではないかとの声がありました。

今般の船舶管理会社の登録制度では、船舶管理契約を遂行する上で必要な要件を国が確認して、業務情報や品質をガラス張りにすることで、安定的かつ継続的な業務運営を確保し、系列外の船主が活用しやすくするという目的があります。

この登録制度では、「船員の配乗」や「船舶の保守管理」、「運航船舶実施管理」の全てを行う事業を「第一種登録船舶管理事業」としています。

内航海運事業者の多くは中小企業であり、特に、一杯船主は事業継承者がなく、廃業するケースが多く見受けられています。そこで、この登録船舶管理会社に船舶をフル管理してもらって、オーナー業を継続していただくということも目的にしています。

#### 委員

最近、船主が少なくなっているので、この「登録制度」が現状にマッチングするのか疑問に思えるのですが。

#### 部会長代理

登録申請した会社は、ほぼ、審査をパスするのですか。

#### 海事振興部次長

現在、11社が登録していますが、聞き及ぶ限りでは全て登録できています。申請手続きの中で、いろいろ指導を受けながら、最終的に登録に持っていった事業者もあると聞きました。

#### 委員

話の焦点は、船舶管理会社の事業がガラス張りになり、国の登録を得ることで、船主とオペレーターの関係がよくなるのか。また、それによって船舶管理会社の経営が本当に安定するのかどうかですよね。

海事振興部次長

この登録制度は今年の4月から始まってまだ半年しか経過していません。これから登録事業者も増えていくと思いますが、登録制度の効果等については、今後、検証してゆくことになるかと。

部会長代理

審査基準は公開されていますか。

海事振興部次長

はい、公開しています。

部会長代理

今の疑問は審査基準を見てもわからないのでしょうか。

委員

審査基準を満たしても、事業として成立するかどうかは別問題でしょう。船主がその気にならなければ如何ともしがたい、という実態もあるということです。

部会長代理

いろいろご意見ありがとうございます。

それでは、事務局から連絡事項はありますか。

海事振興部次長

他には特にありません。

部会長代理

本日をもって亀井委員が退任されます。平成26年6月に委員に就任されて、今日まで神戸船員部会のご審議をいただきまして、本当にありがとうございました。亀井委員、一言ご挨拶いただけますか。

亀井委員

私は海外が長かったのですが、2012年に帰国して、2013年からこの部会に出席させていただきました。ここではいろんな立場の方のご意見やお考えを聞くことができ、非常に勉強になりました。

私はもともと日本郵船に入社して、その後系列の八馬汽船に移りましたが、ずっと外航海運ばかりに携わってきました。内航や旅客船、漁業などもいろいろご苦労があって、外航だけではないのだなとよくわかりました。

長く海運に携わってきた者として、今後ともご協力できるのであれば、是非、ご協力していきたいと思っています。

いろいろお世話になり、ありがとうございました。

#### 部会長代理

ありがとうございました。

それでは、ほかになければ本日の部会は終了いたします。

次回の船員部会は、10月26日金曜日15時30分からこの調停室で開催します。

本日はありがとうございました。